

『量子コンピュータの現状と展望』

昨年、理化学研究所において国産初の超伝導量子コンピュータが稼働しました。世界に目を向けると、超伝導のみならず、イオンや中性原子を使った量子コンピュータがクラウド上に公開されています。これまでに数多くのスタートアップが立ち上がり、精力的に研究開発が進められています。このように競争の激しい分野において、日本の第一人者である先生方を講師にお招きし、様々な物理系における量子コンピュータ開発の現状と展望についてご講演頂きます。量子情報処理技術に広く興味を持たれている多くの皆様の参加をお待ちしております。



参加申込みフォーム

- 主催：応用物理学会 超伝導分科会
- 協賛：低温工学・超電導学会、電気学会、電子情報通信学会、日本物理学会
- 日時：2024年12月20日(金) 13:00～17:30
- 場所：同志社大学 東京オフィス セミナー室
(〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階
アクセス・地図：<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/to/access/map.html>)

プログラム	
13:00-13:05	開会挨拶 超伝導分科会幹事長
13:05-13:45	誤り耐性量子計算機の開発と展望 鈴木 泰成（日本電信電話株式会社）
13:45-14:25	量子スピード限界で動作する冷却原子型・超高速量子コンピュータ 大森 賢治（分子科学研究所）
14:25-15:05	光パルスを用いたスケーラブルな誤り耐性型量子コンピュータ 高瀬 寛（東京大学）
15:05-15:25 休憩	
15:25-16:05	半導体量子コンピュータの開発状況と今後の展望 樽茶 清悟（理化学研究所）
16:05-16:45	IBM量子コンピュータの最新動向 中野 大樹（日本IBM）
16:45-17:25	超伝導量子コンピュータのタイル集積化 田淵 豊（理化学研究所）
17:25-17:30	閉会挨拶 超伝導分科会幹事

参加費（消費税込、資料代込）：超伝導分科会員 2,000 円、応用物理学会員、協賛団体会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円

参加申込方法：12月18日（水）までに、下記HP（上記QRコード）よりお申し込みください。
https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=4273351170551200&EventCode=8782723223

担当・問合せ先：齊藤 志郎（NTT物性基礎研） shiro.saito@ntt.com
山梨 裕希（横国大） yamanashi-yuki-kr@ynu.ac.jp
堺 健司（同志社大） kesakai@mail.doshisha.ac.jp
宮嶋 茂之（情通機構） miyajima@nict.go.jp